

家庭教育支援だより

《家庭教育サポート企業の取組》 上川管内発

家庭教育サポート企業をつなぐ「上川23ネット」の取組

上川管内では、管内の家庭教育サポート企業同士が情報共有や交流を図るために「上川23ネット」というネットワークを組織しています。士別市の高橋建設（株）代表取締役である高橋 稔 氏を代表として、「できるときにできる範囲で」「和気あいあいとした雰囲気」を合言葉に家庭教育の推進に努めています。

その活動の一つが「ほっかいどうファミリー川柳コンテスト」の実施です。これは上川管内にとどまらず、各教育局を通じて全道の家庭教育サポート企業に広く呼びかけており、昨年度は空知管内やオホーツク管内、渡島管内、釧路管内から応募がありました。

また、11月26日（火）に士別市で開催された、絵本作家よしながこうたく氏の特別公演「給食番長がやってくる！オイ！サア！サア！」では、広報や運営協力を行うなど、企業の家庭教育推進や子どもたちの読書活動推進に向けて、精力的に活動しています。



《管内PTA連合会の取組》 宗谷管内発

第67回宗谷管内PTA研究大会猿払大会・子育て研修会を開催

宗谷管内PTA連合会は、令和6年11月17日、宗谷管内PTA研究大会猿払大会・子育て研修会を開催しました。猿払村役場交流センターを主会場に、オンラインも併用し、保護者や教育関係者など、131名が参加しました。宗谷教育局からは、「望ましい生活習慣・学習習慣の定着」と「子どもたちとネットトラブル」について情報提供が行われ、参加者は、生活習慣(就寝・起床の時刻や睡眠時間、朝食の摂取等)と学力の関係や、児童生徒のインターネットをめぐる現状等について理解を深めました。落語家の林家染太氏による講演「いじめられっこのぼくが落語家になったわけ」も行われ、祖父との交流をとおして生きていることの重みについて考えたことや、中学校時代のいじめ被害を勇気をもって身近な大人に相談したことで、大人が真剣になって自分を守ってくれたエピソードなどに、参加者は真剣に聞き入っていました。小話も交えながら、笑いあり、涙ありのあっという間の90分でした。

参加者からは、「子どもの生活習慣を見直すきっかけとなった」や、「スマホの使い方について、今日話を参考に子どもと話し合っていきたい」などの感想が聞かれました。



林家染太氏の話に聞き入る参加者

《親子で参加可能なイベントのお知らせ》 オホーツク管内発

北見で冬の防災体験！「極寒サバイバル～防災A・P～」について

道内にあるネイパル6施設では、独自に開発した体験プログラムを通じて、災害が発生した場合でも、子どもたちが主体的で安全に行動できる力や、すすんで貢献する態度を育成するため、「ネイパル防災A・P（アクティブ・プログラム）」を実施しています。今年度ネイパル北見では、「ネイパル防災A・P」の一環として1月に、主催事業「極寒サバイバル～防災A・P～」を実施します。本事業は、冬季の災害発生を想定



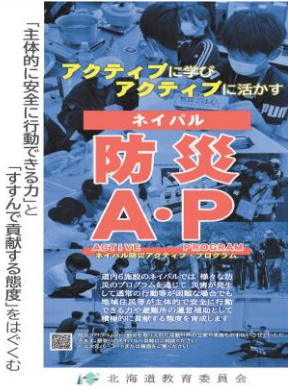
した親子での防災体験をとおして、災害時の家族の役割について考えるとともに、命を守るために安全に行動する力を育むことをねらいとしています。

地元の警察署及び消防署、北見市防災危機管理課などと連携し、冬の車中泊体験や雪の中の避難訓練などを行います。また、子どもたちには、楽しく防災が学べる防災かるたや防災紙芝居なども用意しています。極寒の中、貴重な体験の機会となりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。詳しくは、

ネイパル北見のHP (napal-kitami-hokkaido.jp/)、

Facebook (<https://www.facebook.com/napalkitami/>) をご覧ください！！

併せて「いいね！」もお願いします。



いいね！

《地域の家庭教育支援等に資する取組》 留萌管内発

遠別町家庭教育支援チーム「アート&クリエイト」について

「アート&クリエイト」は、レジンアクセサリ作りやリースを作る活動をとおして、子育てに関する情報交流ができる空間づくりの取組を平成27年度から行っています。現在のメンバーは15名で、月に1回程度開催する定例アート&クリエイトで、参加者の興味のあることや季節に合わせた内容のものづくりに取り組みながら、同時に子育て等の情報交流を行っています。また、定期的に認定こども園内にある子育て支援センターを利用する保護者を対象にした「ママのリフレッシュタイム」を開催しています。町内では、アート&クリエイトの活動をきっかけに、100点以上のおもちゃで遊ぶことができる「おもちゃ図書館 ちゃちゃ」の開催や「ダブルダッチ」グループの結成など、幅広く、子どもとその保護者同士をつなぐ活動が生まれています。



体験活動の重要性を地域で広めましょう！

「小学生の頃に体験活動や読書、お手伝いをよくしていると、その後の成長に良い影響がある」ことが、国の調査から分かっています。しかし、北海道の子どもは、全国に比べて体験活動が不足傾向にあります。

【ネイパルには様々な体験プログラムがあります】

全道に6箇所ある北海道立青少年体験活動支援施設ネイパルは、グループや家族でも利用することができ、自然体験や創作活動、軽スポーツなど様々な体験プログラムがあります。また、減免規定を設け、全ての子どもが体験活動に参加しやすい体制を整えています。

【地域には子ども会や町内会など体験活動の場があります】

地域には、子ども会や町内会などの体験の場がたくさんあります。地域の個人や会社・団体が、それらの行事を支え、子どもの体験活動の場を充実させており、子どもの健やかな成長の一助となっています。

『家庭教育支援チーム』登録制度に登録しませんか？

道教委では、子どもの健やかな育ちを支え、すべての保護者が安心して家庭教育を行うことが出来るよう文部科学省で実施している「家庭教育支援チーム」への登録を呼びかけています。

詳しくは、文部科学省又は、道教委社会教育課社会教育指導係へ
文科省HP (https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/katei/1354683.htm)



【発行元】北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

電話：011-204-5994

メール：kyoiku.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp

HP：<https://manabi.pref.hokkaido.jp/wa/dokyoi/sgg/support/>

